

# 麻生区町連だより

2019(平成31)年2月1日発行



発行所 麻生区町会連合会  
<http://www.asao-chouren.com/>  
 発行人 会長 角山 雅計  
 事務局 川崎市麻生区役所  
 地域振興課地域活動支援係  
 電話 965-5113  
 印刷 (株)メディアタクリの窓新聞社

## 新年のごあいさつ 麻生区町会連合会会長 角山 雅計

新年、明けましておめでとうございます。

平成31年の新春を皆様と共に迎えることができましたことを心よりお慶び申し上げます。

また平素は、麻生区町会連合会の運営、諸事業の推進に町内会・自治会の皆様の温かいご理解とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

麻生区町会連合会は、昭和57年に多摩区から麻生区が分区分されたと同時に発足し、「人と人のつながり」を最も大切なものと考え活動してまいりました。当連合会発足当初は、71町会で組織されていましたが、現在は106町会、会員数は約47,700世帯の規模にまで成長してまいりました。これも、歴代の会長をはじめ、役員・会員の皆様が、よりよい地域社会の実現のための取り組みにご尽力してきていただいた賜物であると心から感謝申し上げます。

さて、平成30年中の川崎市内の出来事を振り返りますと、1月の富士通フロンティアズによるアメリカンフットボール日本選手権ライスボウル2年連続3回目の優勝や、11月の川崎フロンターレJリーグ2連覇などのスポーツで明るい話題が多かったと思います。しかし、全国に目を向けますと、6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨、9月の北海道胆振東部地震、度重なる台風上陸など、数多くの自然災害に見舞われました。そのような状況の中で、当連合会は区内最大の住民組織として、災害時に住民同士が互いに助け合える土壌づくり、住民自治、住民福祉の発展のために最大限寄与していかなければならないと考えております。

また、川崎市とのパートナーシップも継続して発揮し、「人と人のつながり」「顔の見える関係づくり」をキーワードとした、安全・安心な生活を営める地域づくりに力を尽くしてまいります。

結びになりますが、本年が麻生区民の皆様方にとりまして幸せ多き年となりますことを心よりご祈念申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。



## 新年のごあいさつ 麻生区長 多田 貴栄

新年、明けましておめでとうございます。

麻生区町会連合会の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこと、心からお慶び申し上げます。また、皆様には、昨年中には九都県市合同防災訓練、あさお区民まつり、麻生区地域包括ケアシステムの取り組みなどの麻生区内における各種取り組みを通して、麻生区政へ多大なるご尽力、ご協力をいただきましたことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。

麻生区といたしましては、引き続き町会連合会の皆様からもご協力いただき、子どもから高齢の方まで、「誰もが、いつまでも安心して暮らせる地域づくり」の実現に向けて努力してまいりたいと思います。

麻生区町連だよりの発行を通して、区内の各種情報を読者の皆様にお知らせしていただくことにご尽力されております町連だより編集委員をはじめとする麻生区町会連合会の役員の皆様がこの場をお借りして改めてお礼申し上げます。

皆様、本年もどうぞよろしくお願いたします。



## 平成31年麻生区 賀詞交歓会開催



平成31年1月8日(火)、新百合トウェンティワンビル・多目的ホールにおいて、麻生区5団体(麻生区町会連合会・麻生区社会福祉協議会・麻生区商店街連合会・麻生防犯協会・麻生防火協会)の主催による平成31年麻生区

賀詞交歓会が盛大に開催され247名が参加されました。

舞台上では、鴨志田敏彦麻生区商店街連合会会長の主催者代表あいさつ、田中正博麻生警察署長、多田貴栄麻生区長の祝辞などの後、麻生区文化協会のご協力による「あさおまつり唄」の踊りが披露され、会を華やかに盛り上げました。

また、宮野敏男麻生区町会連合会副会長の万歳三唱の後、同連合会の角山雅計会長の閉会のことばで閉幕となりました。

## 麻生区町会連合会「勉強会」開催

毎年恒例となりました、麻生区内の各所を巡る麻生区町会連合会の勉強会ですが、今年度は「川崎市の魅力体験」をテーマとして、「味の素川崎工場」、「川崎市役所講堂」、「川崎市議会講堂」、「川崎マリエン」、「川崎港工場夜景クルーズ」と川崎区を巡る特別企画として、麻生区町会連合会研修・勉強会担当委員会主催により町内会長を対象に昨年(2018)の11月20日(火)に開催しました。

川崎市鈴木町にある「味の素川崎工場」では、人間の舌で感じる味の種類としては当初「甘味」「酸味」「塩味」「苦味」と思われていましたが、明治41年に「うま味」が発見され、うま味調味料「味の素」の販売開始から現在までの沿革の説明がありました。シアター見学後、工場内をバスで移動して「ほんだし®」の製造工程の見学とかつお節削り体験、うま味体験、「ほんだし®」おにぎりの試食と盛りだくさんの内容でした。



味の素川崎工場での集合写真

「川崎市役所講堂」と「川崎市議会講堂」の見学では、市職員の説明を受けながら通常は入れない、川崎市長の記者会見場と市議会議場に入り市議会議場では議員席と議長席に座る体験もできました。



市議会議場で議員の説明を受ける

次の見学先の「川崎マリエン」では、ホオジロザメの剥製の見学とマリエンシアターで川崎港や海運に関する映像を視聴し、展望室から川崎港一帯を眺めました。その後、東扇島浮桟橋に移動しフロンティアルーツ号に乗船し、大師運河、塩浜運河、京浜運河を巡り川崎港の工場夜景を一望しました。

参加した町内会長の方は「麻生区から川崎区は少し離れているため行く機会が少なく、よい経験ができた。通常入ることができない『川崎市役所講堂』と『川崎市議会議場』の見学も大変興味深かった」と話していました。また当日のアンケート結果から当企画に参加してよかったとの声が多数寄せられました。

## 「地域に役立つ学びを麻生市民館で」

麻生図書館と同じ建物の中に、麻生市民館があります。市民館というと、イベントやコンサートが開催されている場所というイメージはありますが、市民館は、利用の仕方によっては地域の活動促進やコミュニティ形成などにも役立ちます。そこでいくつかの視点でご案内させていただきます。

### 【地域の課題を解決するために】

市民館ではさまざまな講座を開催しています。例えば、コミュニケーション手法を学んで気兼ねなく声をかけられる住民同士のつながりを目指したり、地域の歴史・文化を学んで地元愛につながる素材を見つけるなど、地域課題の解決に活用できる知識を学ぶこともできます。また、近隣の外国人住民との付き合い



### 【充実ライブを見つけるために】

市民館の各部屋は、さまざまな市民

活動に対応できるように作られており、音楽、絵画、俳句、語学、囲碁・将棋、料理など、多様な分野のサークル団体などが活動拠点として使用しています。廊下にはメンバー募集のポスターがずらりと並んでいます。ぜひ市民館にお越しになり、ポスターを眺めたり、実際の活動を見学してみてもどうでしょうか。そしてこれらの活動に参加すれば、知識や教養の修得だけでなく、同じ価値観を共有する方々との交流が生まれ、気の合う仲間も見つかると思います。

### 【情報を得るために】

市民館では市民活動団体、行政、関係機関が発行する情報紙、イベント・講座案内、説明リーフレットが3階フロアの通路に豊富に配置されています。常時500くらいはあるようです。気の向くままに眺めるだけでも、多少大袈裟かもしれませんが社会の動きを大まかに知ることができますし、お得な情報も得られます。

問合せ ☎(951)1300

FAX(951)1650

88asaosi@city.kawasaki.jp